

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふるーの森			
○保護者評価実施期間	2025年 11月10日 ～ 2025年 12月12 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	2025年 11月10 日 ～ 2025年 12月 12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活力・社会性を育てる支援を心がけている。	・日常生活動作（身支度、片付け、時間管理など）を習得できるようお子さんに合わせた視覚支援や環境整備をしてわかりやすい環境を作っている。 ・成功体験を積み重ね、自信に繋げている。	・個別支援を大切にしながら集団活動の内容や経験の幅を広げ、社会性や協調性を育む支援を充実させていく。
2	・一人ひとりの特性や発達段階に合わせたプログラムを取り入れている。	・日々の支援の中で小さな変化や成長を職員間や保護者様と共有し、継続した支援に繋げている。 ・安心できる関係づくりを大切にしている。	・お子さんの発達に合わせたアセスメントの充実を図っていく。
3	・職員の専門性とチームでの支援	・お子さんにとって最善の支援が出来るよう、職員全員での情報共有やより良い支援につながるための意見交換を行う時間を毎日確保している。 ・研修を通して支援の質の向上を図っている	・職員間で情報共有だけでなく、支援の目的・ねらいを共有し、統一した支援が出来るよう連携を図って行く。 ・一人ひとりの専門性や支援力の向上に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様との日常的なコミュニケーションが十分とは言えず、送迎時やサービス提供記録でのやり取りが中心となり、お子様の細やかな様子や支援の意図を十分に伝えきれていない場面がある。その結果、保護者様の不安や要望等を早期に把握出来ていないこともある。	・年2回の面談の他に、いつでもご連絡をくださいとは伝えてはいるが、相談しにくいところもあるのか、直接の相談は少ない。また、アプリ（HUG）を活用して連絡事項等伝えて下さる方もいるが一部である。	・保護者様への情報提供について、連絡アプリ（HUG）の活用を見直していく。サービス提供記録の記載の内容や、活動報告、支援のねらいを具体的に伝えるなど、関心を持ってもらえるように工夫を行う。また、保護者様からの相談や意見を受け止めやすい雰囲気作りを心掛け、相談しやすい関係性づくりに努める。
2	・保護者同士の交流する機会が少ない。	・保護者のニーズの把握が十分に出来ていない。	・保護者様に交流の場があれば参加するか等、面談の時やアンケートなどでご意見を伺い、その結果を持って職員間でどのようにしていくか話し合う時間を作る。